



令和 7 年 8 月 12 日
午前・~~午後~~ 0 時 34 分 受領

No. 1

令和 7 年 8 月 12 日

議長	事務局長	係
		

愛南町議会議長 吉田 茂生 殿

愛南町議会議員 尾崎 恵一

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1.南宇和高校魅力化による全国募集について 県立南宇和高校では、令和 8 年度より全国からの生徒募集を開始し、令和 9 年度の 4 月から生徒を受け入れる予定であり、これは本町にとっても大きな転機と認識している。 少子化が進行する中、町内唯一の高校である南宇和高校の存続と活性化は、地域の将来に直結する重要課題であり、町としても積極的に関与すべき局面ではないかと思う。これまで本校では、叶夢センターの設置や地域探究活動の推進、教育振興協議会による支援など、町と連携した魅力化の取り組みが進められてきた。また、農業・水産業・防災・医療福祉・観光文化などの地域資源を活かした探究活動は、地域と学校が一体となった教育の好事例として評価されている。 今後、全国からの生徒受け入れに向けては、寮や生活支援体制の整備、交通アクセスの確保、地域住民との共生に向けた合意形成など、町として果たすべき役割が一層重要になってくる。また、南宇和高校との役割分担や支援の在り方についても、明確な方向性が求められる。 よって、以下の点についてお伺いする。 (1) 魅力化における町の役割と、南宇和高校との協議	教育長

の現況はどうか。 (2) 全国募集に向けた受け入れ体制の準備状況と課題は何か。 (3) 今後、町としてどのような支援を検討しているのか。	
2.四国西南地域・宿毛内海道路の整備について 令和 6 年度をもって全区間が事業化された宿毛内海道路は、愛南町の将来の発展や町民生活の安心につながる重要な社会基盤として、地域全体の期待を集めている。 本路線の整備により、救急医療体制の強化、南予地域における広域的な防災・避難経路の確保、農水産物の流通効率化、観光客の利便性向上など、町民にとって直接かつ多面的な恩恵がもたらされと考えられる。 また、南予地域では広域連携による交通網の整備が進展しており、宿毛内海道路は、宇和島市の南側と高知県宿毛市をつなぐ重要な道路であり、地域の広域交通を支える拠点として、ますます大切な役割を担っている。 現在、町としても国・県に対し要望活動を継続的に行いながら、地域の声を届ける取り組みを進めているところと認識しているが、住民の関心が高い本事業の具体的な進捗や早期完成への取り組みについて、改めて議会として確認する必要があると考え、以下の点について伺います。 (1) 宿毛内海道路の整備は現在どの段階まで進んでいるのか。 (2) 町民への情報提供や説明の機会について、どのように考えているか。 (3) 町として、本事業の早期完成に向けてどのような関与や要望を行っているのか。	町長